

(別表) 熊本市が発注する土木工事で利用可能な情報共有システムについて

令和3年(2021年)3月8日

令和4年(2022年)5月24日 追記

熊本市 総務局 契約監理部 技術管理課

以下の情報共有システム提供者のシステムについて、利用可能とします。

- 工事情報共有システム (株式会社 建設システム)
<https://www.kentem.jp/products/kjk>
- 電納 ASPer (株式会社 建設総合サービス)
http://www.wingbeat.net/cals_ec/asp.html
- 現場クラウド for サイボウズ office (株式会社 現場サポート)
現場クラウド One (株式会社 現場サポート) (令和4年6月13日以降適用
工事から)
<https://gcloud.genbasupport.com/>
- 工事監理官 (日本電気 株式会社)
<http://www.neo-calsec.com/index.html>

情報共有システム提供者に求める機能は以下のとおりです。

1. 国土交通省のホームページに掲載されている「情報共有システム提供者における機能要件 (Rev5.2)」に対応した情報共有システム提供者のシステムであること。
http://www.cals-ed.go.jp/jouhoukyouyuu_taiou/
2. 熊本市土木工事で指定する工事帳票に対応していること。
https://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=21058&class_set_id=2&class_id=146
3. 熊本市電子納品ガイドライン (土木) R2.4 に規定する適用要領・基準に対応した工事書類等出力・保管支援機能を有すること。
https://www.city.kumamoto.jp/HpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=2788&class_set